



## 20年 約束

避難所にいた  
おばあさんへ

# 手を握り合いたい

手を握ると、「あったかい、ありがとう」って。時間もなく薬も足りず、私ができることは本当に少なかった。

AMDAボランティア、矢部朝子さん(63) 赤磐市千躰

避難所の学校で巡回診療にあたりました。

国際医療NGO「AMDA」(北区伊福町3)の職員で看護師だった

避難所は人でいっぱい。トイレのすぐ近くの寒い廊下にも、おばあさん

私は、震災から3日後に神戸入りし、

横になっていました。とっさに

足を運ぶことしかできなくても、痛みの分かる人でありたい。あの時のおばあさん、お元気ですか。また手を握り合いたいですね。

【聞き手・五十嵐朋子】